

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2014-1-195
研究課題名	広範囲大動脈瘤の手術成績
研究期間	西暦 2014 年 07 月（倫理委員会承認後）～2015 年 06 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録 ）
上記材料の採取期間	西暦 2002 年 01 月～2014 年 06 月
意義、目的	大動脈瘤は、加齢や、高血圧、糖尿病などに伴う動脈硬化性変化や結合組織疾患などの基礎疾患を背景に動脈が拡大する疾患であり、一旦破裂してしまうと循環維持が困難となり致命的となる疾患である。治療法として人工血管による大動脈置換術があり、大動脈瘤が大動脈の一部に限局している症例においては外科手技の向上に伴い、その手術成績は良好なものとなっている。一方で大動脈瘤の病変が大動脈全領域に波及し(広範囲大動脈瘤)、より広範囲の大動脈置換を必要とする症例が存在し、未だに手術侵襲が大きく、成績改善の余地がある領域といえる。今回、当科で施行した広範囲大動脈瘤の治療成績を後方視的に調査し、その成績、問題点等を検討することで同疾患の今後の治療戦略に対する端緒とする。
方法	2002 年 1 月から 2013 年 12 月までに当科で施行した広範囲大動脈瘤患者を抽出し、2014 年 6 月までの診療録より術前の心臓超音波検査、CT 検査、術後合併症の有無、生死の有無等の情報を抽出する。抽出された情報を解析し、手術成績やその問題点を検討する。
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学心臓血管外科医局 正木 直樹、齋木 佳克 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 022-717-7222